

がん検診受診率向上のための取組の進捗について

今年度からスタートしている第4期千葉県がん対策推進計画では、がん検診受診率の更なる向上を目指して、その目標値を50%から60%に引き上げたところである。

この目標達成のために、がん検診の実施主体となる市町村及び関係機関が連携して取り組む新たな方策の進捗について報告する。

1 令和6年度第1回千葉県がん対策審議会予防・早期発見部会（令和6年7月31日開催）の検討結果

- (1) 県は、市町村等に対し、全国健康保険協会千葉支部（以下「協会けんぽ」という。）が被扶養者を対象に実施する特定健診と、市町村が実施するがん検診の同時実施によるメリット等について周知する。
- (2) 県は、検（健）診の実施主体である市町村と協会けんぽが行う協議の場の設定を行うなど、後方支援を行う。
- (3) がん対策審議会予防・早期発見部会における検討
 - ・協会けんぽと県の取組結果の報告
 - ・課題解決に向けた取組の検討

2 令和6年度の進捗

- (1) 令和6年度市町村等担当者研修会の開催（令和6年12月10日）

内 容

① 講演

演題 ナッジ等行動科学を活用したがん検診受診率向上へ向けた取組

講師 静岡社会健康医学大学院大学 准教授

厚生労働省 健康・生活衛生局 参与／医政局 参与 溝田友里氏

② 事務局説明

協会けんぽの被扶養者を対象とする特定健診と、市町村が実施するがん検診を同時に実施することのメリット（受診者の利便性の向上や効果的な周知啓発、受診勧奨が可能となる等）の周知

- (2) 令和6年度第1回健康ちば地域・職域連携推進協議会における周知（令和6年10月24日）

・がん検診受診率向上に向けた取組について依頼

- (3) 協議の場の設定

○協会けんぽ、千葉市健康支援課、県による協議

・令和7年度の同時実施に向けて検討（令和6年10月18日）

・その後、令和8年2月同時実施に向け現在調整中

○協会けんぽ主催の集団健診に際し、広報面で協力のあった南房総市に対して、がん検診同時実施を含めた更なる連携強化を検討